



# 阿波高新聞

8月号  
187号

編集  
新聞・文芸部



新聞・文芸部員大募集!

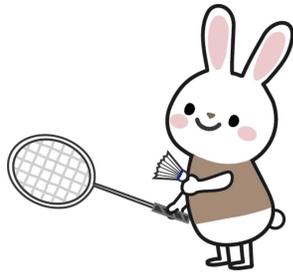
私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています!  
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

もうすぐ八月も終わろうとしています。みなさんは充実した夏休みを過ごすことができましたか?今年インターハイが四国で開催されたため、一、二年生は前期補習がなくなり、部活動などに打ち込んでいた人も多いのではないのでしょうか。

さて、今回はインターハイ特集です。七月下旬に鴨島で行われたバドミントン競技と、鳴門で実施されたバレーボール競技でのボランティア活動をまとめてみました。

## ◎バドミントン競技

七月二十二日から二十七日に吉野川市の鴨島小学校体育館で、バドミントン競技の練習会場のボランティア活動をしてきました。その様子と、一緒に活動したメンバー二人のインタビューをお伝えします。



今回、鴨島小学校に練習に来ていたのは、主に富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡県の代表の選手でした。シード校の学校もいたため、試合前から練習試合をするなど練習会場は熱気に包まれていました。そして、二日間徳島県代表の徳島商業高校、一度だけ福岡、大阪、北海道の選手が、ダブルスやシングルの練習にきていました。

体育で使うバドミントンの羽根と違い天然素材を使っているため、練習後には辺りに羽根が散っているのが印象的でした。天然素材とは主に、アヒルやガチョウの羽根で作られたものをさすそうです。競技用の試合球はアヒルの羽根より耐久性のあるガチョウの羽根のシャトルを使うとのこと。私たちは今回、ボランティア活動で清掃や受付などをしました。消毒や検温も徹底して行い、感染対策にも気をつけました。六日間のボランティア活動を終えての感想を聞きました。

## ◎ボランティア活動をして...

暑い中大変な仕事でしたが、大会は選手だけでは成り立たないこと、どのような大会も、裏方では良い大会にしようという行動している人がたくさんいることを知ることができました。

○体育館から聞こえてくるバドミントンの音は、普段体育の授業では聞くことのできない、鋭く、重い音でした。それだけ本気で部活動に打ち込んでいる選手の姿を近くで見ることができたことにとっても感動し、頑張ろうという元気をもらいました。

## ◎大変だったことは...

○虫が苦手だったので、朝一番の清掃は、虫の死骸がよく落ちていて、掃除するのに苦労しました。  
また、練習に来ていた学校の方が怪我をしたので書類に記入して対応をしたり、突然質問をされたりと、予想通りにはなかったことです。上手な対応の仕方がわからず、慌ててしまったことが心残りです。

## ◎ボランティア活動に参加して良かったと思うこと

○私たちが担当した練習会場を使った高校が、バドミントン競技団体で準優勝したことです。私たちのボランティア活動とは関係のないことだと思えますが、間近で形のある成果を見ることができたので、言いようのない喜びがこみ上げて来ました。  
○人との繋がりができたことです。同じようにボランティア活動に参加されていた先輩や、他のクラスの同級生はもちろんですが、練習会場を利用された方々の「ありがとう」ございました。という声を聞くことが嬉しく思いました。

## ◎バレーボール競技

阿波高校バレー部が鳴門のアミノバリュー体育館で行われるインターハイにスタッフとして参加するので密着してきました。

七月二十八日、朝から晴天、暑い中、鳴門に集合です。この日は会場設営のお手伝いをしました。役員の方が座る机や、応援団の受付場所や指定席の配置、会場案内の掲示をしました。その後は、明日からの試合で行う係の最終確認です。



七月二十九日、いよいよ試合が始まりました。阿波高バレー部は受付業務とボールトリバーを担当しました。

ボールトリバーは、コート端に六人配置され、サーブをする選手に素早くボールを回す役割を担当します。試合後に担当したバレー部員に感想を聞いてみました。「何も覚えていません。目の前のボールを回すことに必死でした。」試合を間近に見られそうですが、そんなことはなく、円滑に試合が進むように、自分のすべきことを必死にしていた様子がよく分かります。

七月三十日、ちよつと天候が怪しい中、鳴門会場最終日です。保護者の方々の応援もさらにヒートアップしていました。担当時間外には試合観戦をしていたのですが、試合を見終えたの感想を聞きました。「火花が炸裂するようなすごい音でした。」明日の決勝も見たいです。  
阿波高バレー部の四日間のインターハイも終わりです。よい経験ができたようですね。また、間近で見ていたチームが翌日優勝し、特別な思い出できました。

このように、近くで各県代表の選手の練習姿を近くで見ることができたり、同じ高校生の頑張っている姿を見られたりしたことは、今年の夏の大きな思い出となったと思います。  
インターハイに出場した選手のみなさん、ダンス部やボランティア活動に参加して、大会運営に関わったみなさん、お疲れさまでした。



## 今月の言葉

人生にがっかりした時に、  
何をしなきゃいけないか  
知りたい?  
ただ  
泳ぎ続けるんだよ!

『ファインディング・ニモ』  
ドリー

